

「東京・国立市に「農家の台所」というレストランと、自分たちにとって理想の八百屋をオープンした国立ファームですが、こちらで方向転換をすることにしました。

簡単に言えば、4月に蒔いた種が6月に芽が出始め、それをチェックしてみたなら、思っていたような苗になっただけじゃなかったということ。「農家の台所」は現在、月に1000万円の出費が出ています。また、わずかに16坪の八百屋でさえ、うまく回っていません。それらのダメな要因が、ようやく見えてきたのです。

スポーツで言えば、僕はまず先制攻撃を仕掛けるつもりでした。それがうまくいったら、「それ、行け！」とドンドン攻め続けるつもりでした。けれども、正直に言って、現状ではうまくいっていません。ですから、戦略を変えるんです。

要は、超攻撃型チームから、ひとまずは守備力重視のチーム作りに変えるんです。今は、領地拡大を目指すのではなく、とにかく、今ある領土をきちんと守ることを目指します。

僕は、自分の能力をベースに物事を考えていました。けれども、国立ファームの若い社員たちに、それを求めたのが間違いでした。

僕が、「とにかく戦地を広げよう」と走り続けた結果、各地がことごと

く火ダルマになっていたんです。だから、「よし、全部オレがやろう」という思いが芽生え始めてきました。……けれども、今回、僕はそうしません。僕が前面に出て、何もかもやってしまえば、おそらくうまくいくでしょう。けれども、それでは、国立ファームの若者たちが育たないし、すべての社員が僕に依存するようになってしまいます。このことは

前の会社で経験済みです。もちろん、「勝ち方」ではなくて、とにかく「勝つこと」が大切だし、結果が求められていることはわかっています。それでも、僕の中には、「まだまだ大丈夫」という思いもあります。ですから今は、僕が指示を出した上で、国立ファームの社員たちに任せてみようと思っています。

現在、世の中の有象無象を鍛え上げるために、東京の国立に秘密のトレーニング場を作っているところなんです。今はまだ実戦に行けません。現在の国立ファームのローガンは、「勝ちたがりません、しばらくは」です。いつまで続くかは、まだ言えません。ですから、国立ファームは、しばらくの間、表舞台から姿を消し、停滞することでしょう。

けれども、油断はしないでください。しばらくの間は、戦場から撤退するけれど、これから地下にこもって、

秘密のトレーニングに励みます。次に、表舞台に現れたときには、すごいことになっていることでしょう。現状だけお話しすれば、悲惨な状況に思えるかもしれませんが、けれども、これらのことは、僕にとっては、すべて予定通りなんです。僕にとつて、

1.「まず動く」、そして2.「間違いを見つめる」、その結果、3.「軌道修正をする」というのは、いつもの通りの「成功への道」なのです。……負け惜しみに聞こえますか？

けれども、僕は本気です。「楽しいことは必ず訪れる」、その思いがなければ、創業社長にはなれません。過信と努力は比例します。今は、美味しいビールを飲むために、ひたすらサウナに入って、ノドをカラカラにしているところです。我慢に我慢を重ねた後のビール。きつと、それは美味しいことでしょう。スポーツには、時間制限や回数制限があります。でも、ビジネスにはそれがない。何時間でも、何回でも、時間をかけて、勝つまで待てばいいんです。だから、しばらくの間、僕は動きません。

さて最後に、先月触れた北海道・沼田町の農場や食品加工工場の件ですが、現在のところ進める方向で動いています。けれども、先ほど言ったように、しばらくの間は人が育つまでは寝かせたいと思っています。

国立ファーム株式会社

高橋がなりの

アゲツのオサ

～早く「虎」に変わるんだ！～

第5回

しばらく、攻めるのは止めて「守り重視」で進みます！